

テーマ：「誰ひとりとして取り残さない社会」を考える

関連の深いコース： 人間文化コース、ローカル・サステイナビリティコース

1. このテーマを学ぶために

持続可能な社会の構築のためには、「誰一人として取り残さない」ということが重要だと言われますが、誰一人として取り残さない社会とは一体どのようなもののでしょうか。このような観点から考えた時、私たちの社会はそれをどの程度達成することができており、どのような問題や課題を抱えていて、どのような解決策が必要とされているのでしょうか。

これらの問いに答えるためには、まず①これまでの知識の蓄積や議論を学ぶことと、②今何が起きているのかを知るためにデータや分析を検討することが必要です。更に、③調査の方法を学び、情報や知識がどのように作られているかを知りましょう。これによって研究やメディア等での議論に対してクリティカルに向き合い、自分自身でも研究を行うことができるようになるからです。そして、④自分でテーマを決めて問いを立て、調査や分析を行ってみましょう。知識を生産し、解決策を提示することができます。

①のためには、**現代社会論I**や**現代思想と人間I,II**で社会・人文科学で使われる理論や概念、思想を学び、思考の枠組みを手に入れましょう。

②に関しては、自分がどのような問題に特に興味があるのかを考え、それに合致する科目を見つけてみましょう。特に多様性や格差、人権の問題を扱う科目を選んでみると良いでしょう。**現代社会論II**ではジェンダーとセクシュアリティについて学び議論していますし、**現代社会論III**では身体と医療の社会学という観点から、経済的格差や人種、障がいについても考えます。国際的な枠組みで考えたい人は**途上国経済論I,II**も良いでしょう。また、多様な背景や価値観を持つ人々が尊重されながら共生するためには、相互理解とコミュニケーションが必要になります。この部分について学びたい人は、**グローバル・コミュニケーション**も検討してみましょう。

③のためには、**フィールド調査論**や**社会統計論**で知識やスキルを身につけることができます。調査の方法論を中心に据えた**研究会**もあります。

④に関しては、**研究会**に所属して取り組むこともできますし、いろいろな科目の課題の中で考えることもできるでしょう。個人で論文を書くことも可能です。

2. テーマに関連した推奨科目

現代社会論 I,II,III, 現代思想と人間 I,II, 途上国経済論 I,II, グローバル・コミュニケーション, フィールド調査論, 社会統計論, 研究会